

2018年（平成30年）7月18日

輸送動向について（平成30年6月分）

1. 輸送概況

今月は、18日に発生した大阪府北部を震源とする地震および下旬に発生した広島地区大雨の影響等により、高速貨219本が運休となった（前年は、高速貨60本が運休）。

コンテナは、災害の影響によりほぼすべての品目が前年を下回るなか、積合せ貨物が関西・東北地区間での鉄道シフトが順調に進んだことから、前年を上回ることができた。

紙・パルプは印刷紙等の販売不振に伴い各地で出荷調整が行われたため、大きく減送となったほか、食料工業品では清涼飲料水の出荷が全国的に落ち込んだことから、低調な荷動きとなった。その結果、コンテナ全体では前年比96.6%となった。

車扱は、石油が6月上旬に価格が下落したことに伴って買い控え傾向となり、低調に推移した。また、セメントや石炭は工場の定期修繕の影響により、前年を大きく下回った。その結果、車扱全体では前年比90.4%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比94.9%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,756	1,818	96.6%	5,410	5,431	99.6%
車 扱	606	671	90.4%	1,861	1,917	97.1%
合 計	2,362	2,489	94.9%	7,271	7,347	99.0%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	99	101	-2	98.2%
	化学工業品	170	178	-8	95.4%
	化学薬品	121	123	-2	98.3%
	食料工業品	324	334	-10	97.2%
	紙・パルプ	200	234	-34	85.5%
	他工業品	137	141	-4	97.4%
	積合せ貨物	239	237	2	100.9%
	自動車部品	78	78	0	99.9%
	家電・情報機器	37	39	-2	95.9%
	エコ関連物資	40	42	-2	95.2%
	そ の 他	310	312	-2	99.5%
コンテナ計	1,756	1,818	-62	96.6%	
車 扱	石 油	390	410	-20	95.1%
	セメント・石灰石	104	126	-22	82.8%
	車 両	60	68	-8	89.2%
	そ の 他	51	67	-16	77.0%
車 扱 計	606	671	-65	90.4%	
合 計		2,362	2,489	-127	94.9%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）